

固形茶からみる お茶の世界

企画展

令和8年7月18日(土) ▶ 10月19日(月)

※写真はイメージです。

関連プログラム(詳細は裏面をご覧ください)

- ◆ 固形茶を楽しむセミナー 10月11日(日)
- ◆ ギャラリートーク 8月8日(土)

【開館時間】9:00~17:00(入場は16:30まで)

【休館日】毎週火曜日(ただし8月11日、9月22日は開館)、9月24日は休館

【観覧料(常設展・企画展共通)】一般(15歳以上)500円

※学生・70歳以上の方は、身分証明書のご提示で無料になります。

※障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証、登録者証をお持ちの方と付添者1名は手帳等のご提示で無料になります。

協力:袋井市茶文化資料館、松下コレクションを活かす会、公益財団法人世界緑茶協会、大豊町碁石茶協同組合、玉亜雷氏、松下智氏ほか



ふじのくに
茶の都
ミュージアム
Tea Museum, Shizuoka

企画展

固形茶からみるお茶の世界



①



固形茶(緊圧茶)とは、茶葉を圧縮成形して固めたお茶で、茶種によってその原料や製造方法は異なります。

中国・唐代のお茶の専門書『茶経』(760年頃)には、固形状のお茶の製法や喫茶法が記されています。同時代に始まったお茶と馬を交換する茶馬交易では、茶産地から消費地までの長期間の運搬や保存のため、固形茶が用いられていました。

明代以降、葉茶(リーフティー)が主流となりましたが、現在でも中国の雲南省や四川省、湖北省、湖南省、広西チワン族自治区などで生産されています。円盤状に平たく圧縮された餅茶や長方形・正方形のレンガ状に固めた磚茶、お碗形の沱茶など、様々な形があります。

本展では、固形茶の歴史や製造方法をはじめ、現代の固形茶や喫茶道具約100点を展示し、多様なお茶の世界を紹介します。

②



③



④



⑤



①茶経(複製) ②青地龍文蓋碗 ③百両茶 ④モンゴルの喫茶道具(袋井市茶文化資料館所蔵) ⑤人頭茶(袋井市茶文化資料館所蔵)
※資料の劣化を防ぐため、会期の途中で展示替えすることがあります。

主な展示内容

- I. 固形茶の歴史
- II. 固形茶の特徴
- III. 様々な固形茶
- IV. 固形茶の喫茶法

関連プログラム

I. 固形茶を楽しむセミナー

チベットやモンゴルの喫茶と民族の歴史について学び、チベットのバター茶、モンゴルのミルクティーを味わいます。珍しいお茶に触れる機会ですので、ぜひご参加ください。(お菓子付き)

日時 令和8年10月11日(日)
①11:00~12:30 ②14:30~16:00

場所 博物館1階多目的ホール
講師 川谷眞佐枝氏(NPO法人現代喫茶人の会 副理事長)
定員 各回先着20名(事前予約制、7月21日~受付開始)
体験料 500円※別途会期中の観覧券(一般500円)が必要です
対象 中学生以上

※定員に達し次第、受付を終了します。
※材料に乳製品を使用します。アレルギーのある方はご注意ください。
※お預かりした個人情報はこのセミナー以外に使用しません。
※1週間経っても申込受付の返信がない場合は、お手数ですがお電話でご連絡ください。



予約方法

ふじのくに電子申請サービスでお申込みください



II. ギャラリートーク

担当学芸員が企画展の見所を解説します。

日時 令和8年8月8日(土)
①10:30~11:00 ②13:30~14:00

場所 博物館2階企画展示室
定員 10名程度(当日先着順)

参加料 無料※当日の観覧券(一般500円)が必要です
※総合案内で整理券を配布します

※当日、総合案内にて整理券をお受け取りの上、企画展示室へお集まりください。

次回企画展

「文人茶と静岡県で活躍する煎茶流派」(仮称)
令和8年11月7日(土)~令和9年2月15日(月)

※写真はイメージです。内容は変更になることがあります。詳細はホームページでご確認ください。

ふじのくに茶の都ミュージアム

〒428-0034 静岡県島田市金谷富士見町3053番地の2
TEL 0547-46-5588 FAX 0547-46-5007
HP <https://tea-museum.jp>



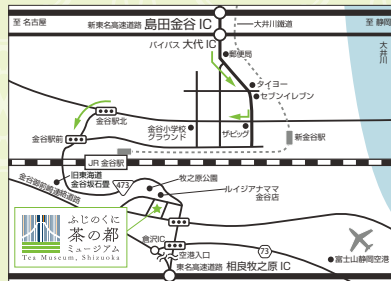
HP



Instagram



Facebook



交通案内

- JR金谷駅よりバス・タクシーで約5分、徒歩約25分
- 東名高速道路:相良牧之原ICより約10分
- 新東名高速道路:島田金谷ICより約13分
- 国道1号:大代ICより約10分